



3.5m級先端屈折式はしご車の導入について

西消防署に配備するはしご車の更新に伴い、要救助者の救出に係る迅速性、安全性等の強化を図るため、当市で初めてとなる先端屈折式はしご車を導入します。

これまで西消防署に配備されていたはしご車と違い、はしごの先端が屈折することで、電線や樹木などの障害物を避けて上方から建物に接近（※図1）するのはもちろん、特に高層ビルのフェンスや手すりなどに囲まれた屋上でのスムーズな救助活動（※図2）が可能となります。

1 納車日時

令和2年1月15日（水）10時00分

2 納車場所

呉市西消防署（呉市中央3丁目1-34）

3 取材可能日時 ※取材を希望する場合は、事前に警防課まで連絡してください。

令和2年1月15日（水）10時00分

4 主な特長

(1) 先端屈折式

はしご先端（2.54m）を折り曲げることができ、電線や屋上に設置されたフェンスなどの障害物を避けて接近することができます。

(2) 四輪操舵（4WS）

ハンドル操作に連動して、前輪と同様に後輪も動くことで、車両の回転半径が小さくなり、これまで切り返しが必要であった道路へ容易に進入することができます。

(3) バスケット・リフトの搭乗定員

バスケット（はしご先端のカゴ）の定員が3名から4名に、リフト（昇降機）の定員が2名から3名に増えたことで、同時に多くの要救助者を救出することができます。

